

## 主要課題2 男女共同参画の視点に立った意識の改革

### 2-(1) 男女共同参画の視点に立った意識改革と実践

男女の地位の平等感は、男性の方が優遇されているという意見が多く見られます。固定的性別役割分担意識や性差別に関する偏見・固定概念、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）は、女性・男性いずれにも存在しており、男女共同参画や女性活躍に関する取組みの進展が十分でない要因の一つに挙げられていることから、男女双方の意識啓発・理解促進に取り組んでいます。

#### ○各分野における男女の地位の平等感

(%)

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
家庭の中で	10.0	32.5	34.8	9.8	3.3	9.8
職場の中で	13.5	42.5	24.3	5.5	2.3	12.0
地域社会の中で (町内会、自治会など)	10.3	39.8	28.0	4.5	0.8	16.8
社会通念や慣習やしきたりなどで	14.5	51.3	18.8	3.5	1.0	11.0
法律や制度のうえで	8.5	36.8	36.3	6.0	1.3	11.3
政治の分野で	22.0	49.3	16.3	1.8	0.3	10.5
学校教育の分野で	4.0	25.3	54.0	3.0	0.3	13.5

資料出所：愛媛県子育て支援課「令和3年仕事と生活の調和の実現に関するアンケート調査」

#### ■男女共同参画社会づくり推進県民大会の開催

男女共同参画に向けての意識の高揚や自発的な活動を促進し、県民総ぐるみ運動を展開するため、男女共同参画社会づくり推進県民大会を開催しました。

- ・主 催：愛媛県、男女共同参画社会づくり推進県民会議、  
公益財団法人えひめ女性財団、  
公益財団法人松山市男女共同参画推進財団
- ・日 時：令和3年10月12日(火)13時00分～15時15分
- ・場 所：オンライン開催
- ・参加者：県民会議会員及び一般県民



・内 容：基調講演

「持続可能な地域づくりと男女共同参画  
～ジェンダーの視点から考える「自分らしく生きる」とは～」

講師：治部 れんげ

(東京工業大学リベラルアーツ研究院准教授、ジャーナリスト)

パネルトーク

テーマ「男女共同参画の視点に立った意識の改革

～無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)って?～」

出演者：伊藤 悟志(会社員、NPO団体代表)

溝上 達也(松山短期大学学長)

横山 ぬい(愛媛県経営者協会 女性リーダーズクラブ会長)

桐木 陽子(松山東雲短期大学教授、愛媛県男女共同参画会議会長)

■令和3年度 SDGs ゴール5 「ジェンダー平等」 啓発講座

開催日	(一般)10月27日(水) 13:30～15:00 (学校関係者)12月27日(月) 13:30～15:00	11月11日(木) 13:30～15:00	12月16日(木) 13:30～15:00
場所等	(一般) 愛媛県立図書館 多目的ホール	愛媛県美術館講堂	愛媛県庁第二別館大会議室
	(学校関係者) オンライン(ライブ配信)	※YouTubeによる録画限定配信も実施	
テーマ	アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)を知る	地方創生の鍵を握る 女性の多様な ワークスタイルとキャリア	ジェンダーギャップ 解消の最前線 ～地域社会と学校教育～
講師	水谷 紀子 オフィス・カラー代表	田中 えり奈 (株)ミシェル 代表取締役	大崎 麻子 特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事
受講者	(一般)17名	25名	49名
	(学校関係者)46名	YouTubeによる録画限定配信 193名	



■男女共同参画推進地域ミーティング開催事業

地域における男女共同参画社会づくりを一層推進するとともに、機運の醸成を図るため、地方局職員、市町職員及び地域で活躍するリーダーを対象とした男女共同参画推進地域ミーティングを開催し、地域課題の解決に向けた打開策を見出し実践していくための意見交換等を行いました。

- ・主 催：各地方局(共催：管内各市町)
- ・参加者：地方局男女共同参画推進班員、市町男女共同参画担当課長、地域で活躍する者、その他(計 100 名)

地方局	東 予	中 予	南 予
日 程	令和3年10月6日(水)	令和3年12月2日(木)	令和3年11月5日(金)
会 場	オンライン開催	中予地方局	南予地方局
講 師	オフィス・カラー 代表 水谷 紀子	食文化・料理研究家 中村 和憲	オフィス・カラー 代表 水谷 紀子
参加者数	32名	22名	46名
内 容	とっさの無意識で可能性を妨げないために～気づこう、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)～	カジダンが活躍する職場改革	とっさの無意識で可能性を妨げないために～気づこう、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)～

■市町男女共同参画推進学習支援事業

市町が実施する男女共同参画の推進に関する施策の検討や計画の推進に向けた取組みを支援するため、次の6市町に有識者を講師として派遣し、研修を実施しました。

- ・主 催：各市町(県と市町との協働事業)
- ・受講者：市町職員など地域行政に関わりの深い機関の職員(6講座 計 155名)

開催市町	開 催 日	会 場	講 座 内 容	参加者数
今治市	令和3年7月30日(金)	今治市役所	男女共同参画の視点からの防災 講師:女性と防災の会 代表 小國 恵子	33名
大洲市	令和3年10月28日(木)	大洲市役所	市民協働のまちづくり 講師:(公財)えひめ女性財団 副参事 門田 欣也	31名
砥部町	令和3年11月30日(火)	砥部町役場	アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)に気づこう 講師:まなのき 代表 石井 真奈	22名
宇和島市	令和3年12月22日(水)	宇和島市役所	男女共同参画視点の防災研修 講師:女性と防災の会 代表 小國 恵子	24名
西条市	令和4年1月13日(木)	西条市役所	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)と男女共同参画 講師:まなのき 代表 石井 真奈	28名
愛南町	令和4年2月25日(金) オンライン開催	愛南町役場	カジダン(整理整頓) 講師:アビリティセンター株式会社松山オフィスリーダー 西野 雅史	17名

## 2—(2) 男女共同参画の視点に立った学びの推進

世論調査では、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」という考え方に肯定的な意見が半数です。また、「性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい」という考え方に肯定的な意見が約9割を占めています。小・中・高校では、男女混合名簿が導入され、適切な場面で使用されています。

### ○教育に対する意識

項目		肯定的意見	否定的意見	どちらとも いえな	無回答
男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい	H21	60.0%	15.7%	19.9%	4.4%
	H26	52.3%	15.0%	29.3%	3.3%
	R元	44.5%	25.8%	27.1%	2.6%
性別にこだわらず子どもの個性を伸ばす方がよい	H21	88.6%	2.8%	5.5%	3.1%
	H26	88.8%	2.0%	6.3%	2.9%
	R元	89.8%	2.2%	5.7%	2.3%
学校で出席簿の順番など「男子が先」という習慣をなくした方がよい	H21	31.3%	22.9%	40.4%	5.4%
	H26	32.8%	19.5%	43.4%	4.3%
	R元	35.9%	16.5%	43.8%	3.7%
女性は文系、男性は理系の分野が向いている	H21	6.9%	53.1%	34.4%	5.6%
	H26	4.3%	56.0%	35.8%	4.0%
	R元	3.9%	60.7%	31.9%	3.5%
知的な能力は性別による差よりも個人差の方が大きい	H21	79.4%	5.0%	10.8%	4.8%
	H26	80.4%	4.7%	10.9%	4.0%
	R元	82.1%	4.4%	9.5%	4.0%

資料：愛媛県「男女共同参画に関する世論調査」